

週刊新社会

発行所：新社会党
 〒101-0051 東京都千代田区神保町2-10 三辰工業ビル3F
 TEL 03 (6380) 9960 FAX 03 (6380) 9963
 振替 00140-0-149727 1ヵ月600円 郵送料1ヵ月164円

新社会ちば

2016年3月 162号

発行：新社会党千葉県本部
 千葉市中央区新千葉2-1-1 新千葉ビル401
 TEL 043-244-6865 FAX 043-244-6864
 E-mail: sinsya@lily.ocn.ne.jp
 HP URL: http://www1.ocn.ne.jp/~nsp/



集会であいさつする県本部秋葉委員長

戦争法を使わせない・廃止を求める 参院選は反自民共闘で

再び戦争させない千葉県1000人委員会が集会開く

2月27日、千葉市中央公園で再び戦争させない千葉県1000人委員会主催の「戦争法を使わせない・廃止を求める千葉県民集会」が開かれ約500人が結集。新社会党千葉県本部と県憲法を活かす会関係者約30名も参加しました。

主催者を代表して廣瀬理夫（共同代表）は「今集会を契機に県内各地で、安倍政権を許さない、戦争法を廃止するという運動を力強く続けて行きたい」とあいさつ。続いて小西ひろゆき参議院議員（民主党）、福島みずほ参議院議員（社民党）があいさつしました。

そのあと、中央の1000人委員会から駆けつけた佐高信氏（評論家・週刊金曜日）

2月13日、麹町区民会館（東京）で「オスプレイNO！新社会党学習会」が開かれました。主催者を代表して本部の高橋俊次大衆運動委員長が「オスプレイ問題は、今では沖縄だけの問題ではなく、関東ブロックとしても、各地区と活動交流をしながら、オスプレイ配備阻止の闘いを取り組む時期に来ている」とあいさつしました。

「オスプレイNO！」で学習会

配備導入反対の闘いを強化

講演に移り、米軍に詳しい市民団体「リムピース」の頼和太郎編集長から「オスプレイとは何か」（安保体制とオスプレイ）と題して講演を受けました。

その中で、オスプレイは危険な兵器。事故が多発しているが、ほとんどがパイロットエラーで片付けられている。開発の契機は、テヘランの米大使館占拠事件の人的解放に失敗したこと、普通のへ

リより早く飛べる航空機が必要との総括から開発されたが構造的欠陥があり問題は多い。開発初期の故障はよくある話だが、いまだに改善されていない。事故率は導入時の1.9が現在は3.69と上がっている。オスプレイが着陸するときには発生する砂嵐の砂をエンジンに吸い込んで故障の原因になる等、オスプレイの欠点や危険性について話されました。



木更津地区の運動等も報告

各地からの報告では、厚木基地を巡るオスプレイ飛来反対運動の取り組み、横田基地の低空飛行や夜間飛行の問題などが報告されました。

千葉から参加した福島県本部書記長からは、木更津地区を中心に、「オスプレイ来るな」いろいろな住民の会等で地域活動を取り組んでいる平良文男県本部副委員長たちの活動を紹介しますとともに、戦争法反対の取り組み等もあわせて報告しました。

閉会あいさつで、党関東ブロックの坂本議長（茨城県本部）が「危険極まりないオスプレイの配備導入を許さない闘いを強化し取り組む」とまとめて終わりました。

【星野】原発は絶対渡せない。

編集委員）が次のようにあいさつしました。「岸信介や安倍はあの戦争が悪いものだとは思っていない。彼らに反省を求めても無理。だから替えるしかない。作家の故・城山三郎氏は『戦争はすべてものを失わせる。戦争で得たものは憲法だけだ』という言葉を残している。また、TPPと安保（戦争法）はガッチリ結びついている。TPPを結ぶということは自給率を下げることだ。ヨーロッパの多くの国では、食料

自給率の低い国は戦争をしたがる国だと思われ。自分の国で食べられるものがなくなれば他の国から分捕ってくるだろう。だから、食料自給率を下げることは戦争を肯定する、あるいは戦争をしかねない国だということだ」と訴えました。

国政選挙で共同実現を

このあとの政党あいさつでは、民主・社民・ネット代表があいさつした後、新社会党県本部の秋葉委員長は「先

日、5つの野党が一つになって、今年夏の参議院選挙で、安倍自公政権の暴挙を許さず、今の戦争法廃止をする共同提案を出した。新社会党は、10年前から国政選挙での共同を訴えてきた。今度の参議院選挙では反自公を勝ち取るため最大限の力で臨みたい」と決意を述べました。

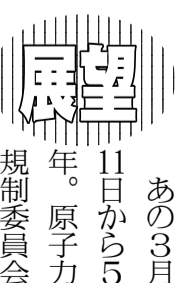
ことを求めて野党の共同を求めている。次の県民集会では、必ずや野党共闘を手をつなぐ姿を見せて欲しい」と訴え、会場から大きな拍手が沸きました。

集会アピールを採択した後、千葉駅前ドーム下に移動して署名行動を行い、市民に訴えました。

【谷口】

あの3月11日から5年。原子力規制委員会高浜4号機の水漏れ事故後にも合格を出したが、すぐに緊急停止。基本40年廃炉の滅多にないはずの20年延長も認められた。福島原発の東電は炉心溶融マニユアルが5年間忘れられていたと発表。怒りと同時に身も凍る恐ろしさ

▼国会では甘利氏は口利きで閣僚辞任はしたが雲隠れし議員辞職せず検察庁も動かない。閣僚、議員の暴言・勉強不足の数々。倫理道徳観のとつともない欠如▼私たちの年金積み立て運用が株価下落の阻止に勝手に使われている。昨年は8兆円の損失を出した。年明けからの株価での損失も膨大とか。安倍首相は運用に失敗すれば年金受給世代にも減額ありと答弁。そこまでのフリーハンドを渡したつもりはない▼政治が芯から腐っている。しかし辺野古埋め立て反対国会包囲行動に2万8千人。原発と人間は同居できない。脱



労働契約法20条裁判の支援集会開く

非正規雇用の格差・差別を許さな

闘う「郵政・内陸バス裁判闘争原告団」



講演する竹信三恵子氏

2月11日に、千葉市内で「世界の流れは均等配分・労契法20条裁判支援集会」が開かれました。

この集会は、現在闘われている「郵政労契法20条裁判闘争」と、千葉内陸バス労契法20条裁判闘争の原告団を支援するためのもので、会場には70人以上の仲間が集まりました。

た。この二つの裁判闘争はいずれも正規雇用者と非正規雇用の格差・差別を訴えたもので、あまりにもひどい職場実態が報告されました。現在全国で2000万人といわれる非正規雇用で働く人たちが、賃金格差や労働条件の格差のもとで働かされており、それでも物が言えずじつと

耐え忍んでいるのが実態です。 導入された当時は、非正規は責任のある部署には着けない」との確認の下で実施されたが、現在は『名ばかり店長』に代表されるように全く無視されている、と規制緩和と非正規雇用の歴史を詳しく話されました。

仲間がいるから立ち上がった

集会は主催者あいさつの後、「日本の非正規格差の実態と世界の均等待遇の流れ」のテーマで元朝日新聞記者兼論説委員を務めた竹信三恵子氏の講演があり、「非正規労働が

労働契約法20条 有期労働契約を締結している労働者の内容である労働条件が、期間の定めがあることにより同一の使用者と期間の定めのない労働契約を締結している労働者の労働条件と相違する場合においては、当該労働条件の相違は、労働者の業務内容及び当該業務に伴う責任の程度（以下

この条において「職務の内容」という、当該職務の内容及び配置の変更の範囲その他の事情を考慮して、不合理と認められるものであってはならない。

H氏から千葉内陸バスから「労働法制の改善といかにたたかうか」のテーマで講演があり、経済界の長期にわたる「闘う労働組合つぶし」の戦略に労働側が負けた結果として現在の状況を生んでしまった経過が話されました。

集会のメインとしてU氏から郵政の闘い、

た。続いてJAL非正規の正社員化の闘いと教育労働者から闘争報告があり、アピールを採択して終わりました。

【菅原】 中国や北朝鮮（朝鮮民主主義人民共和国）が以下「共和国」が攻撃してくるから、日本も軍事力を増強し、憲法を変えこれに備えなければならぬ。このように考える人達も少なくない。

確かに、中国に関しては尖閣諸島をめぐる一連の騒動があったし、西沙諸島の領有をあらそって近隣諸国と物議を醸している。また、共和国についても、核開発とミサイル（人工衛星ロケット）発射が大々的に報じられた。

【平野】 どの国の人々も、平和に人間らしく豊かに生きていきたいものだ。自分たちの政府が今何を目論んで、何を隠し、何を大げさに騒ぎ立てているか、よく見極めて行動しなければならぬ。

長生村 石井としお後援会が新年会 村長選に向け女性部が大活躍

1月31日、長生村の「石井としお後援会新年会」が開かれ、120名を超える参加者がありました。

今年6月の長生村長選挙に向けて、同後援会では、昨年9月の総会で「村長選挙に再度石井としお氏を立てて闘う」という方針を満場一致で確認し、具体

的な取り組みを進めてきました。特に今年の新年会は村長選挙の帰趨（きすう）を占うとして、村長選挙まで、そのエネルギーを持続させよう

等々を組織的に行いました。このように、後援会が一丸となって、新年会の成功に向けて努力した結果、これまでになく「明るく、楽しく、元気の出る」新年会となりました。

新年会を成功に導いた大きな原動力は、何としても女性部の力です。飲食物の予約や買

6月の村長選に向けた政策を発表する石井さん（写真上）と大活躍の女性部の皆さん（写真下）



い出し、当日の接待、出し物の「エイサー踊り」や「バカ面踊り」

など、縦横無尽の活躍で、女性部なしには、この新年会の成功はな

しえなかったと思えます。

【政田】 ①子育て支援で輝く、ながいき村 ②健康長寿、福祉のながいき村 ③学校教育に力を入れる、ながいき村

【政田】 ④農業、産業、観光で輝くながいき村 ⑤安心・安全・災害に強い、ながいき村 ⑥住み続けたいと思える、ながいき村

この政策の内容については、2月には政策リーフレットを完成させ、それをもって村民の支持を訴えていくこととなります。（現在配布中）選挙闘争勝利に向け、多くの仲間の皆さんの結果をお願いします。

【政田】 これら報道になんら疑問をもたなかったら、喜ぶのは現在の安倍政権に他ならない。安全保障関連法（戦争参加法）を強行採決し、次は平和憲法を改正し、名実共に戦争する国にしようとしている

アベ政権を暴くその③

挑発やめて平和外交を

一定の階級が支配する国家では、その支配を維持するために国民を常にある種の緊張状態において、時の支配政党や政権に対する不満や要求を掲げる余裕を持たせないようにしておくのが理想的なのである。内政に対する不満を国外の仮想敵に向けておく、「欲しがりません、勝つまでは」というわけだ。

中国に対しては、せっかく両国間で棚上げ状態になっていた尖閣領有権問題を、国有化するなどの挑発行為はやめて、資源を共同で開発するよう努力すべきだ。共和国に対しても、核だ、ミサイルだ、と大げさに事を荒立てず、日本の米軍基地を撤去し、共和国の目と鼻の先で行う米韓軍事演習を止め、互いに軍備縮小を進めるべきではないか。